

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	議題を決めて運営推進会議を進めてはいるが、利用者・家族代表・地域代表の方からの意見が少ないのが現状である。ホーム側からの問題点や課題についての議題になりがちであるのが原因の一つではないかと思われる。	議題の内容に沿って、参加者に問いかけるような会議にする。	より多くの地域の方々の参加を試み、グループホームの認知度の向上、地域での福祉に関する身近な問題の相談や、介護に関する相談等にも対応できるように努力したい。また、精神科医や市の相談員等の参加を試みる。	12ヶ月
2	11	福祉専門学校へ在学中のため、特に日勤従業者との関わりが少なく、悩みや意見・希望等を聞く機会がない。	従業員との接点を多くし、コミュニケーションがとれるようにする。 いつでも話しやすい人的環境を構築する。	2か月から3ヶ月に一度程度の個人面談を実施する。必要がある場合には随時対応を試みる。	1ヶ月
3	33	入居の際に、重度化や終末期について、利用者や家族からの意向は聞いていない。	重度化や終末期においての意向を伺うこととする。	入居時のアセスメント用紙に、重度化や終末期に関する項目を設ける。重度化の利用者への理解向上のために、特別養護老人ホームでの研修を行う。	6ヶ月
4	45	職員の配置上、現在は実施不可能である。	夜8時頃までの、入浴を可能にする。	夜間の職員配置を検討する。	6ヶ月
5					ヶ月